

少にして学べば 則ち壮にして為す有り 壮にして学べば 則ち
老いて衰えず 老いて学べば 則ち死して朽ちず

(佐藤一斎言志晩録60条)

祝大正百年○新春スペシャル講演会

出演者紹介



とうもんふゆじ
童門冬二

●小説家。『小説上杉鷹山』『小説佐藤一斎』など著書は500冊以上

1927年(昭和2年)、東京都生まれ。東京都広報室長、企画調整局長、政策室長などを歴任後、79年(昭和54年)、退職し作家活動に専念。在職中に培った人間管理と組織の実学を歴史と重ね合わせ、小説、ノンフィクション界に新境地を拓く。『小説上杉鷹山』(集英社文庫他)、『小説佐藤一斎』(致知出版社)、『内村鑑三「代表的日本人」を読む』(PHP文庫)他著書は500冊以上。恵那市先人顕彰事業「下田歌子賞」審査委員長もつとめている。



ふじもとたかひろ
藤本隆宏

●俳優(スペシャルドラマ「坂の上の雲」広瀬武夫役)。元競泳五輪代表選手

1970年(昭和45年)、福岡県生まれ。早稲田大学人間科学部卒業。6歳から水泳を始め、18歳でソウル五輪、22歳でバルセロナ五輪と2大会に連続出場。バルセロナ大会では400m個人メドレーで8位入賞、同種目で日本人初のファイナリストとなる。1989年(平成元年)には200m・400m個人メドレーで日本記録を樹立。その後、97年(平成9年)に劇団四季「ヴェニス商人」で初舞台を踏み、俳優活動を開始。以降、ストレートプレイ、ミュージカル、新派、時代劇とジャンルにとらわれない幅広い舞台に出演。近年では執筆活動やスポーツ解説、コンサートやライブ等の音楽活動を行う他、自ら舞台の作・作詞・演出・主演を手掛けるなど、各方面で活躍中。趣味はバスケットボール(NBA)観戦と古城めぐり。広瀬武夫のふるさと・大分県竹田市の「竹田特命大使」もつとめている。



おのせきけいこ
大関啓子

●実践女子大学文学部英文学科教授。実践女子学園生涯学習センター長

1950年(昭和25年)、東京都生まれ。実践女子大学大学院修士課程・学習院大学大学院博士後期課程を修了、英国ケンブリッジ大学客員研究員を経て、現在実践女子大学文学部教授(英文学担当)、実践女子学園生涯学習センター長、東京都日野市社会教育委員。国際チャーター学会および日本中世英語英文学会会員。主な論文・著書は、「中世英国ロマンスに生きる女性たち」「まよひなき道—下田歌子 英国女子教育視察の軌跡』『中世ロマンス文学—ケルト道選』など。

生涯学習のまちづくり「市民三学運動」について

恵那市では、平成21年度に「三学のまち推進計画」を策定し、本年度より実施しています。この計画は、郷土の先人・佐藤一斎の「三学の精神」を理念としています。三学の精神とは、社会に役立つ有為な人になろうと生涯学び続ける志であり、「子どもも大人も高齢者も、みんな学んで幸せになろう」と説く佐藤一斎の精神です。この理念のもとに、恵那市では読書に親しみ、学びを広げ、学んだことを地域社会に生かす市民三学運動を進めています。

生涯学習には、自己の教養や技能を高める「個人の創造」と、地域の課題を解決し、豊かな地域社会を創る「地域の創造」の2つの目的があります。この2つが結びあうことによって、個人の生きがいや地域のパワーに変わり、やがてそれがまちづくりへと結集します。そして、この活動により醸成される地域のパワーは、再び個人に跳ね返り、より大きな生きがいや幸せをつくり出します。「学んでは生かし、生かしては学ぶ」知の循環、これが恵那市の目指す生涯学習のまちづくりです。

岐阜県恵那市と実践女子学園の連携協定について

下田歌子を学祖とする実践女子学園と下田歌子の生誕地恵那市は、これまでもふるさと先人顕彰事業「下田歌子賞」をはじめとして、中学生の修学旅行や、大学・短期大学の夏季セミナーなど活発な交流が進められてきました。今後、さらに相互の学術・文化の向上と地域の振興に寄与することを目的として、本年11月27日(土)に、実践女子学園と恵那市が連携協定を締結しました。そして、今回の新春スペシャル講演会では、実践女子大学教授で生涯学習センター長の大関啓子氏にご参加いただけることになりました。

会場&アクセス

恵那文化センター

〒509-7205

恵那市長島町中野 414-1

TEL 0573-25-5121

.....アクセス.....

・中央自動車道・恵那インターより
車で3分

・JR中央本線・恵那駅より徒歩15分

